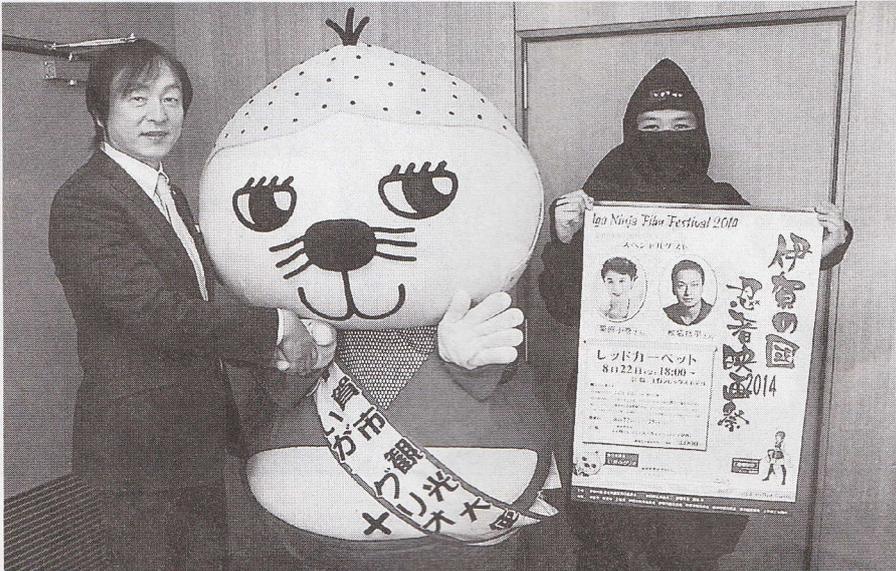


伊賀PRへ忍者映画祭

コンテストや「虎影」上映など



岡本栄市長(左)とともに「伊賀の国 忍者映画祭」をPRする実行委員長の「いが☆グリオ」(中央)ら(伊賀市役所で)

忍者映画のコンテストなどを行う「伊賀の国 忍者映画祭」が8月22～25日の4日間、伊賀市内で開かれることになり、市民らでつくる実行委員会が14日、発表した。同市で映画祭が開かれるのは初めてといい、実行委員長には市観光大使のゆるキャラ「いが☆グリオ」が、名誉会長には岡本栄市長が就任した。伊賀でロケを行った新作忍者映画の初上映もあり、グリオは「映画祭を通して、みんなに伊賀にきてほしいぐり♡」とメッセージを送っている。

(中村総一郎)

伊賀をPRし、映画人との交流で映画文化の普及を目指そうと、伊賀市出身の芸能プロダクション社長、森口あゆみさん(東京都在住)と、まちおこしに取り組む市民らが企画した。

▽忍者をテーマにした公募作品のコンテスト「忍者映画コンペティション」▽伊賀を題材にした作品を上映する

「伊賀の国名画座」▽全国の地域発信映画を上映、表彰する「地ムービーアワード」▽

8月22～25日 グリオ「来てほしいぐり♡」

ある。伊賀市出身で、「忍S HINOBI」に出演した椎名桔平さんや、伊賀の組みひも屋を舞台にした「忍ぶ糸」の主演、栗原小巻さんらもゲストで訪れる予定。続いて、記念作品として、3月末に伊賀市でロケが行われた忍者アクション映画「忍者虎影」(西村喜廣監督)を上映する。若手人気俳優や、地元の人から延べ約400人のエキストラが出演したといい、すでにクランクアップ。現在、編集中で、海外の映画祭への出品も予定しているという。

23、24両日は、両会場で各部門の作品を上映。最終日の25日に、「コンペティション」の応募作品の中から、グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞の3賞を発表する。

映画祭の鑑賞券(4日間通し)は3000円(税込み)。問い合わせは、映画祭実行委員会の東京事務局(03・5376・0055)。